

2011年3月4日

各位

グローリー株式会社  
姫路市下手野1-3-1  
(東証・大証1部:6457)

## 小売店舗向け現金入出金機「DSR-200」を開発 ～ 店舗の精算業務無担当化でローコストオペレーションを実現 ～

弊社は、スーパーマーケット等の小売店舗の売上金を管理する入出金機「DSR-200」を開発し、7月中旬より発売いたします。3月8日から東京ビッグサイトにて開催される「リテールテック JAPAN 2011」の弊社ブースにて展示(参考出品)いたします。

### (主な特長)

- ・ スーパーマーケット等の小売店舗の売上金入金とつり銭の準備を1台で行えます。
- ・ カード認証による使用者管理が可能で、専任の出納担当者は不要です。
- ・ 包装硬貨をそのまま装填、出金が可能で、効率よく多量の硬貨を収容できます。

スーパーマーケット等の小売店舗の多くは複数のレジを設置しており、各レジ内には売上金とつり銭があり、営業後にレジ内現金の精算を行います。精算業務には、専任の出納担当者を設置している場合もありますが、近年では業務の効率化のため、売上金入金機を導入し、専任の担当者を置かずレジ・売場担当者が直接入金を行い、現金輸送サービスを利用して金融機関に入金する店舗が増えています。

最近では、市場の変化に合わせて小型店舗の出店も増えています。これらの店舗では人員も少数で専任の出納係を設けることは難しく、また業務の効率化によるコストダウンを求められる傾向にあります。

この度開発の「DSR-200」は、売上金の入金だけでなく、つり銭用の出金ができる小売店舗向けの現金入出金機です。入金したレジの売上金を再度つり銭として利用することで、資金を効率的に運用することができます。

また「DSR-200」は、つり銭準備金として現金輸送サービスにより配送された包装硬貨をそのまま装填可能で、出金や両替時も包装硬貨のまま扱えるのでバラ硬貨での運用に比べ効率的です。さらに、万円紙幣の入出金に対応していることで、店舗運営に関わる様々な支払いに万円紙幣を用いることも可能です。

「DSR-200」は、弊社製のレジつり銭機・包装硬貨管理機と併せて利用することでさらに効果を発揮します。将来的には、現金在高データの連携、さらに効率的な店内資金運用を実現する予定です。

当社は、「DSR-200」をはじめ、レジ周り・バックヤードの現金管理の効率化・厳正化を実現する製品を提案し、流通市場向け製品のシェア拡大を図ります。

